

□ 事務局打合せ

1. 中部地方環境事務所挨拶(今年度のPF事業について等)
2. 事務局確認(事業のスケジュール、成果物など)
3. PFの取組の現状／今年度の取組・展開
 - 今年度のスケジュール予定
 - どんな「事業」を実施するか・実施したいか
 - 役割分担、「事業」の関係者とは、誰を巻き込む必要があるか
 - 上記で問題点は？
4. EPO関連の実施事項として
 - 「意見交換会」の実施タイミング、内容について
 - EPO中部主催・経済勉強会について
5. 今後の予定(次回事務局打合せの設定)

事業の「提出物 4 点セット」について

① 地域版マंडラ

- いわゆる「ローカルSDGs(自分たちのSDGs)」をできるだけ多くのステークホルダーでディスカッション(共有)しながら創る。

② ステークホルダーリスト

- プラットフォームの構成員、取組・地域の関係者、これから関わってほしい人・組織などのリストをつくり、それぞれの役割や関わり方の見通しを整理する。

③ 成果指標シート

- この事業によって達成したいと考える成果の指標(短期・長期目標)を設定する。
加えて、「近々に必ず達成できる・してみせること」を実行して、事業のPR材料にする。

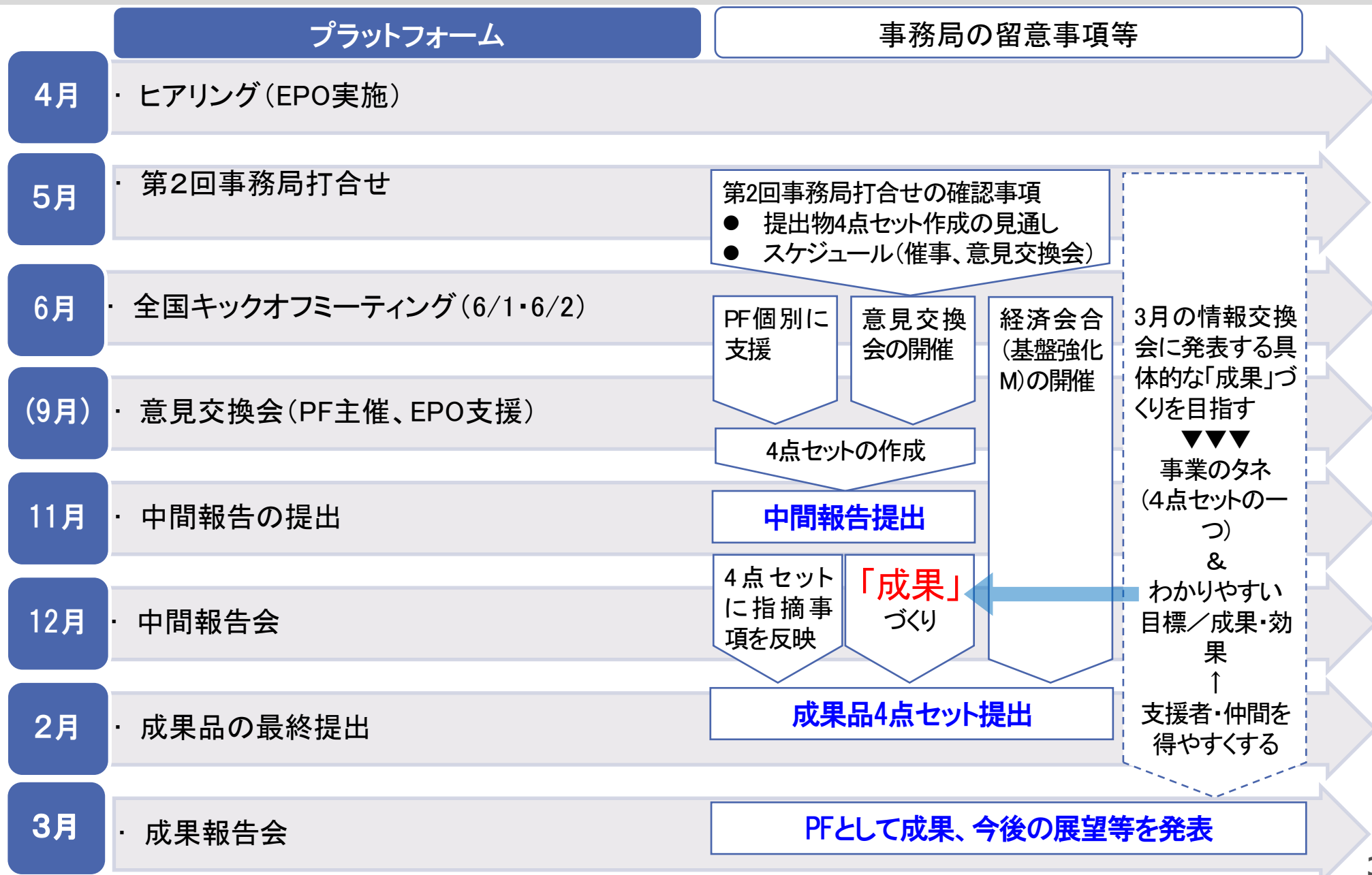
④ コアとなる事業概要

- 環境ローカルビジネス(地域環境課題をビジネスに転換、地域環境資源を活用したビジネスを展開等々)のタネ(種・ネタ、或いは仕込みとして)の事業構想や事業ストーリーを描いてみる。



11月末頃に中間報告を提出、2月に最終報告を提出

スケジュール・進め方等について



事業の環境省側の関係者とその役割

環境省大臣官房 環境計画課	□ PF事業の全国事務局 ● <u>関係イベント</u>等の主催者→関連行事の連絡が受託者から各PFにメール配信される。
受託者(コンサル等) 【未決定】	● <u>経費・精算関係</u>の連絡、関係書類の提出は受託者であり、キックオフ(6/1-2)時に説明あり。 ● <u>提出物</u>(4点セット等)の提出先も受託者となる。
環境省 中部地方環境事務所	□ 中部エリアのPFに対する「支援」事務局 ● PFが事業の進める際に必要な支援を行う。 【過去のPF等への支援例】 ・ 勉強会等で「地域循環共生圏」について概説 ・ 行政(自治体)等への協力依頼、事業の説明対応 ・ 地域のなりたい未来像、地域ビジネスなどをテーマにしたワークショップ(ワーキング)の企画・運営・進行 ・ PFの取組による地域循環共生圏・SDGsへの貢献性を明示した資料の作成(「活動見える化プログラム」を意見交換会で活用) ・ そのほかSDGsワークショップ、ファンドレイジング勉強会なども実施
EPO中部 (環境省中部環境パートナーシップオフィス)	

その他打合せ事項として

■ 意見交換会の開催

- PF側：主催者、及び出席者へ参加呼びかけ（会場等をEPOへ紹介）
 - EPO側：会場費等支払、必要な運営支援（ワークショップ／ワーキングの準備・運営など）
 - 意見交換会で何を行うか？（事業支援事務局／本省はステークホルダーで「地域のなりたい未来像」を抽出するワーキングの実施を想定。実際の実施内容はPF側のスケジュール、取組内容等々によって異なる。）
- PF事務局で、事業全体のスケジュール展開と合わせて、どんなタイミングで、どんなテーマで実施するかを検討が必要。

■ EPO中部主催の経済勉強会イベント

- 「経済（地域ビジネス）（経営等含む）」分野をテーマにした勉強会等をEPOが開催予定である。（具体の要件：財務局、経済団体等との連携・登壇など）
 - もしPF側にニーズがあれば、PFの活動エリア、希望のテーマで企画を予定。
- PF事務局で検討いただき、意向等あれば次回打合せ時に教示いただきたい。

- 次回打合せの日程調整をお願いしたい。
- 次回打合せでの協議事項(予定)
 - 事業展開スケジュール(及び近日の予定など)について
 - 提出物4点セット作成の見通し(方法)について
 - 意見交換会について:意見交換会で行いたいこととは? 開催の日時設定(仮日程でも可)、参加者(プラットフォームのステークホルダーとは?)
 - 前年度の意見交換会の例:次ページ参照。
 - EPO中部主催・勉強会イベント(財務事務所の協力開催)に対する実施ニーズ(実施の可否、時期・タイミング、テーマ・プログラムなど)
 - 前年度の意見交換会の例:次ページ参照。

参考) 「意見交換会」の実施事例

	PF	開催日	EPO進行による「意見交換会」の開催	備考
2020年度	小布施	10月21日	● 定例プロジェクトミーティングに併せて実施。 ● プロジェクトの我がごと化ワークショップ(活動見える化プログラム活用)を実施。	定例ミーティングの中で、一つのプロジェクトを対象に実施
	越前	10月27日	● 新駅整備、スマートシティ実現に取り組むうえでの強み(地域資源)・弱み(地域課題)の抽出、ステークホルダーの巻き込み方について議論。	PFの定例会合の中で実施
	郡上	10月28日	● 地域のなりたい未来像づくり(地域版マンダラを作成するにあたってヒントとするアイデアの抽出)ディスカッションを実施。	PFの第3回勉強会で実施
	尾鷲	11月5日	● PFと誘致企業の意見・情報交流会を実施。 ● 「活動見える化プログラム」を活用して、プロジェクトへの参画によるSDGs・地域循環共生圏への貢献性をEPOが概説。	企業との交流会イベントとして開催
	根羽	10月14日	● フォレストガーデン構想や流域連携のあり方等をディスカッション。	複数プロジェクトのうちの1プロジェクト関係者が集合して実施

参考) 意見交換会：PF郡上の場合

環境省の地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業費を活用しています

郡上市地域循環共生圏勉強会

全4回 参加費無料

地域内で、人、物、お金が回る仕組みを作って、みんなで、「持続可能な郡上」を作ろう

対象 郡上市民、郡上市内の企業、郡上市内の団体、市役所関係者等、その他、ご興味がある方。

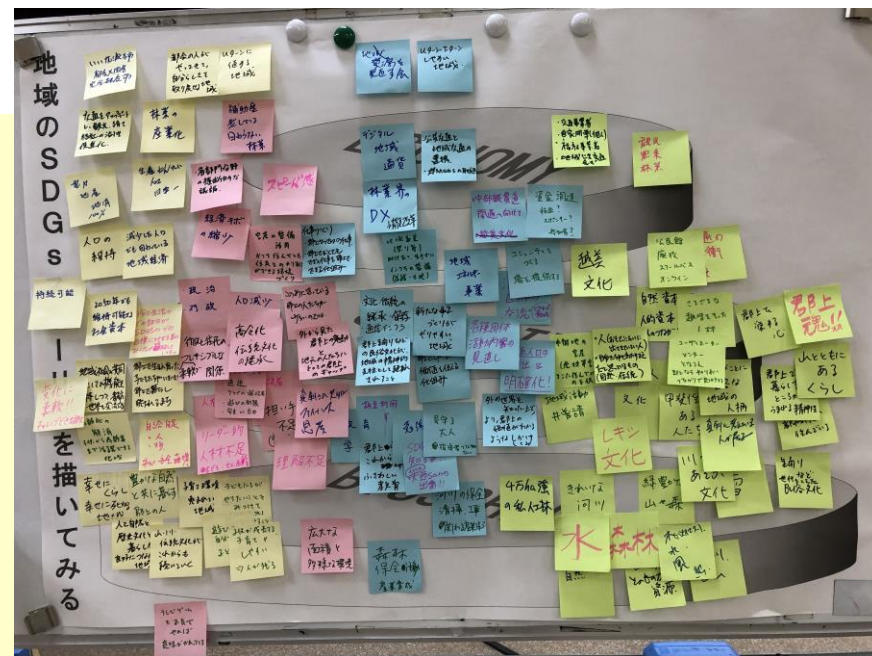
申込み 事務局までEmailでお申込みください。
info@gujoenergy.com

コロナ感染対策のため、人数制限があります。
当日の急なご参加は、お断りする場合があります。
ご参加希望の方は、必ず参加申し込みをお願いします。
また、録画配信、オンライン配信を希望される方も配信希望とご連絡ください。

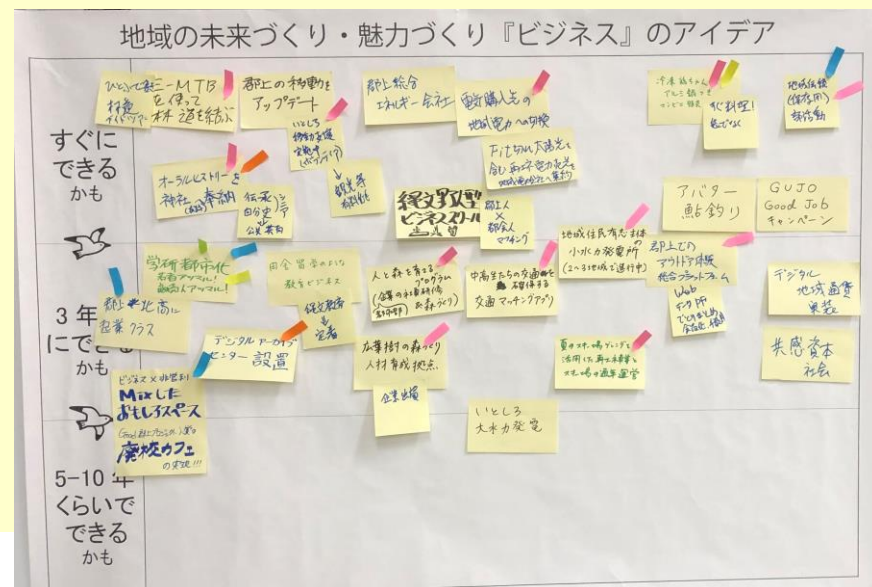
3回目

日時	会場	テーマ
8月28日 (金) 13:30~16:00 録画配信	総合文化センター 多目的ホール	地域循環共生圏って何？ 環境省曾山信雄氏等のスピーカーを迎え、地域への想いや考えを共有する
9月29日 (火) 13:30~16:00 録画配信	白鳥ふれあい創造館	再生可能エネルギーを見直す 再生可能エネルギーを地域循環共生圏づくりの資源として見直す
10月28日 (水) 13:30~17:00 録画配信	白鳥ふれあい創造館	ローカルSDGsをデザインする 郡上市版ローカルSDGsを、ワークショップでデザインする
11月25日 (火) 13:30~17:00 オンライン配信	白鳥ふれあい創造館	地域ビジネスを再考する 地方創生イノベーター谷中修吾氏を迎え、地域ビジネスアイデアをワークショップで創造する

主催：郡上市地域共生圏協議会 協力：環境省EPO中部



4回目



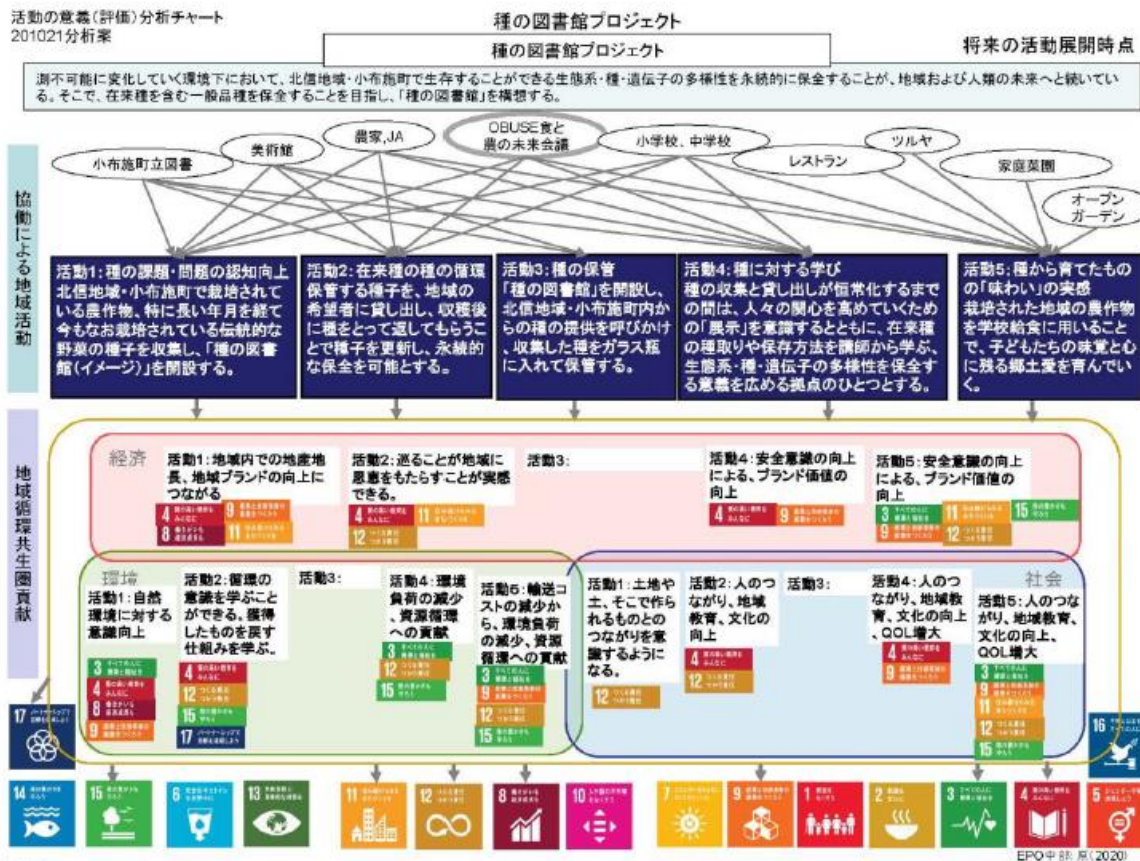
「種の図書館プロジェクト」の「活動見える化」分析を検討する（10/16）

実践している協働取組が、地域循環共生圏やSDGsにどのように貢献しているかを認識するために、「活動見える化」分析を活用し、改めて実施する意義を定義する。

EPO中部「活動見える化プログラム」活用

【意見交換会を開催したことにより得られた成果等】

活動の意義(評価)分析チャート
201021分析案



活動3.「種の保管」の環境・社会、経済への効果が定まらず空白だった。

皆でのディスカッションの結果、これが一番大事で、北信地域で原種センターは1か所しかなく、昨年の水害の被害が影響していたら、伝統作物の種が失われるところであったことが共有された。

実は、活動3がこのプロジェクトの核となっており、自立分散の保管が重要であることが分かった。

おわせSEAモデル構想ステークホルダー・ミーティング

(目 的) おわせSEAモデル構想の取組紹介及びSDGs・地域循環共生圏への貢献性の解説
関係事業者からの意見を踏まえ、地域資源・価値の再発見に取り組み、プロジェクトの更なる推進とステージアップを目指す

(日 時) 令和2年11月5日(木) 13:30~16:30

(参加者) 35団体、76名

【意見交換会を開催したことにより得られた成果等】

- おわせSEAモデル構想の進捗状況の共有
 - ✓ 各PJにおける新たなエリアプランと今後の取組
 - ✓ 撤去工事の進捗状況
- 構想実現に対する意見・課題の共有
 - ✓ 津波浸水域
 - ✓ 大都市圏からの距離及び足元商圏人口の少なさ
 - ✓ 中核となる事業主体・運営主体が見えない など
- 課題解決に向けたアイデアの共有
 - ✓ 地域資源の積極的な活用・PR (ex.海上釣り堀)
 - ✓ 近隣市町と連携したバイオマスの熱利用
 - ✓ エネルギーの地産地消を軸とした
個々のアイデアの結び付け など
- 今後のステークホルダー巻き込みに係る機運の醸成
- 企業マッチングによる新たな事業の可能性



参考) 活動見える化プログラム：おわせSEAモデルプロジェクト

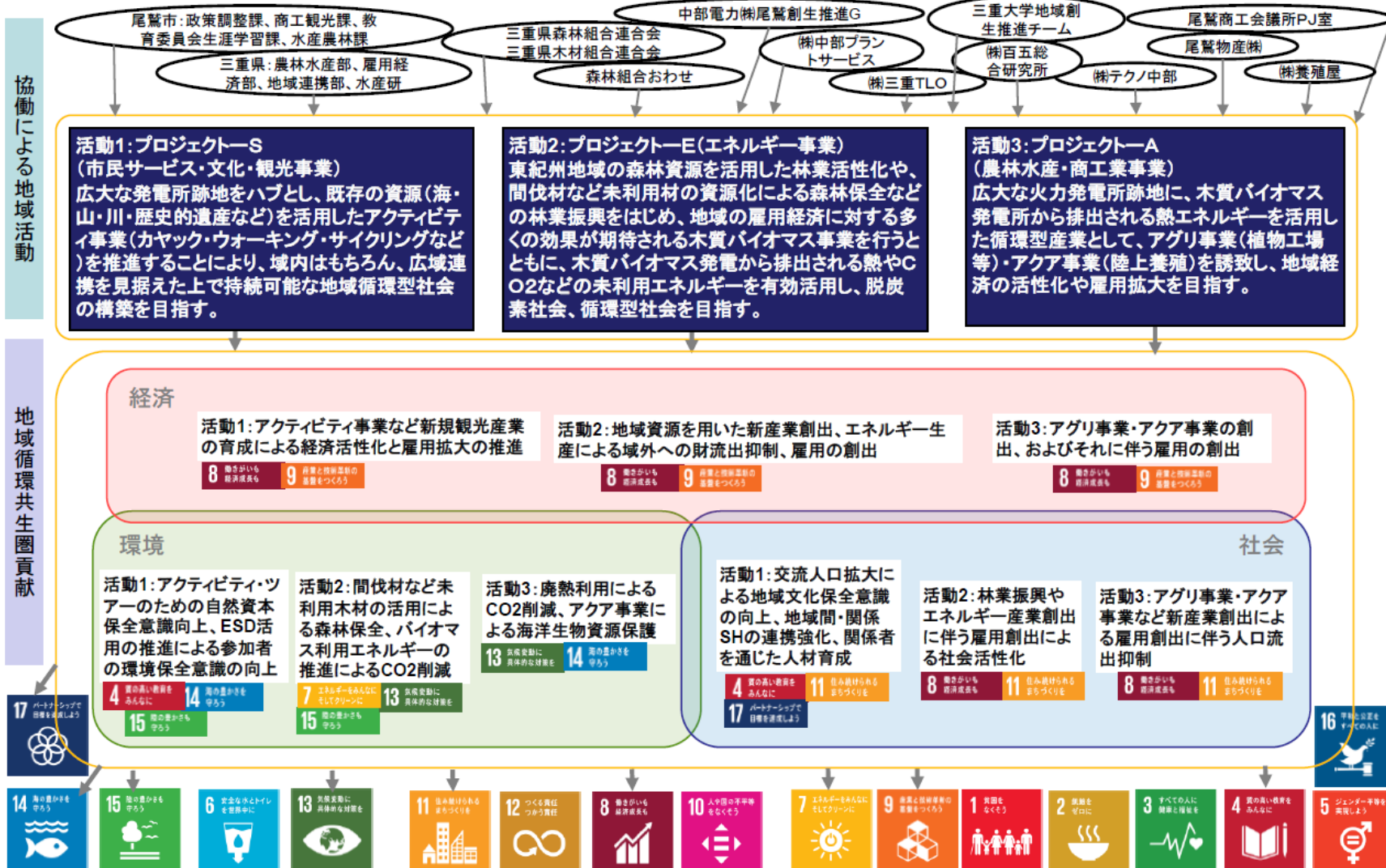
活動の意義(評価)分析チャート
200915分析案

おわせSEAモデル

2020年4月時点

おわせSEAモデル

中部電力の尾鷲三田火力発電所が平成30年12月に発電設備が廃止され、更なる尾鷲市における産業の空洞化や人口の減少が想定されるとともに、廃止された尾鷲三田火力発電所の跡地を活用した地域活性化施策の実現が課題となった。そこで尾鷲市、尾鷲商工会議所および中部電力が、尾鷲三田火力発電所の跡地を「新たなエネルギー」と「豊かな自然の力」で、産業、観光、市民サービスを融合した拠点として、人々が集い活気あふれる「ふるさと尾鷲」を目指すこととした。



EPO中部: 原(2020)

参考) EPO中部主催・勉強会（基盤強化業務）の実施例

	支援・連携	開催日	実施プログラム	備考
2020年度	PF郡上	11月25日 (全1回)	● 講演: 縄文型SDGsの超絶まちづくり? 自然と共存共生する1万年の奥義とは? 谷中 修吾 氏(地方創生イノベータープラットフォーム INSPIRE 代表理事/BBT大学経営学部グローバル経営学科 学科長・教授) ● 話題提供: 岐阜県下における最近の経済情勢について 高橋 成守 氏(財務省東海財務局岐阜財務事務所 財務課長) ● 地域ビジネスのアイデア共有ワーキング「ローカルSDGsの共有と地域ビジネスの創発へ」(※会場参加のみ)	・ PF の 勉 強 会 (第4回目)として実施 ・ オンライン+会場参加(地元住民のみ)で実施
	PF越前	11月27日 (全1回)	● 講演: 地域循環共生圏」について/金井信宏氏(環境省中部地方環境事務所資源循環課長) ● 講演: 福井県の経済情勢等について/山岸賢一氏(北陸財務局福井財務事務所長) ● 講演: 北陸新幹線敦賀開業による福井県内への経済波及効果/鈴木英介氏(株式会社日本政策投資銀行北陸支店企画調査課長) ● 講演: 越前市の「地域経済循環分析」をみる/山崎清氏(株式会社価値総合研究所パブリックコンサルティング第4事業部事業部長) ● トークセッション「地域循環共生圏づくりと新駅整備から越前エリアの未来を考えてみる」/コーディネーター: 加藤義人氏(岐阜大学客員教授)	・ オンライン開催・登壇で実施 ・ 後日 YouTubeで限定公開(→関係者で共有)

